

## 令和7年度地区懇談会（富岸地区） 議事録（概要）

令和7年10月31日（金）18:00～19:30

コミュニティセンター富久寿園 出席者22名

### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

#### (1) 富岸小学校区「児童館」について

##### 概要説明：富岸地区連合町内会

- ・ 登別青少年会館の廃止で、この地区で大規模な集まりができる施設はコミュニティセンターしかなく、参加者が多いと狭く窮屈になっている。
- ・ 数年前から児童館設置を要望しており、聞いたところでは令和8年から登別小学校区に児童館を建設するための調査が始まる予定だという情報がある。
- ・ 児童館はコミュニティセンターと異なる重要な子どもの居場所であり児童数も多いため、建設に向けた情報や進捗があれば教えてほしい。

##### 回答：保健福祉部

- ・ 富岸小学校区の子どもたちの放課後活動の拠点として、現在栄町にある富浜児童館と富岸小学校隣接の富岸児童クラブを集約し、富岸地区の新たな子育て支援拠点施設を設置・建設する計画をしており、庁内で具体的な検討を進めている段階である。
- ・ 今後の予定スケジュールとしては、令和8年度に測量、基本設計、令和9年度に実施設計、令和10年度に本体工事、令和11年度に外構工事と供用開始を予定している。

##### 質問：富岸地区連合町内会

- ・ 設置場所について、現在の青少年会館を解体した跡地か、富岸小学校のグラウンド内か、どのような検討が進められているかを確認したい。

##### 回答：保健福祉部

- ・ 設置については現在庁内で検討中であり、小学校敷地内が適当か現有地が良いかを比較検討している段階である。

### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

#### (2) 国道36号線からJR室蘭本線を跨ぐ立体交差橋の早期建設を要望する

##### 概要説明：富岸地区連合町内会

- ・ 海側住民は津波時などの避難で踏切を渡らなければならず、危険・不便で、7月30日の津波警報の際でも問題が顕在化している。
- ・ 白老や室蘭と比べて跨線橋が少ないのは自治体が要望してこなかったためではないかと考えているが、市民の命を守るために国等に対し跨線橋建設等の要望・財源確保を本格的に行うべきであると思うので、要請の進捗状況を確認したい。

#### 回答：都市整備部

- ・ 国道 36 号と道道上登別室蘭線を結ぶ鉄道横断立体交差橋は、地域の生活交通と本市の道路ネットワーク構築の観点から必要と考えており、平成 25 年度から室蘭建設管理部登別出張所管内の社会資本整備推進会議や室蘭地方総合開発期成会を通じて北海道に整備要望を行っている。
- ・ 北海道は、周辺環境の変化や交通量の増加が大きな要因となるため、登別市や関係機関と協議し、市のまちづくり計画と連携しつつルート検討や課題整理を行いながら事業化を目指すという回答をもらっている。
- ・ 当該地区の周辺環境や交通状況に注視しつつ、今後も粘り強く要望を続けていく。

#### 意見：富浜町内会

- ・ 先日のカムチャツカ半島の津波警報時に国道 36 号線を歩いてイオン登別店まで移動したが、驚別方面から車が非常に多く渋滞する一方で、歩いているのは私一人であった。
- ・ いざという時に歩行者は少なく車に依存する人が圧倒的に多いため、この要望に対する対策は早急に実施すべきであると思う。

#### 意見：大和町内会

- ・ 足の不自由な人や歩けない人はやむを得ず車で避難する必要がある、自分自身もその立場である。
- ・ 富岸方面や亀田公園へ向かう道路が非常に狭く、幅を広げるなど余裕を持たせる改善があれば、体の不自由により車で移動する人が楽になるのではないかと。
- ・ 高架橋などの大きな整備を望む前に、まず道路幅の確保や整備を含めた対策をしてほしいと要望している。

#### 意見：富岸地区連合町内会

- ・ 私たち地域としましては、なるべく早期の実現を要望したいので、粘り強く要望を続けてもらいたい。

#### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

##### (3) 大津波時の J R 室蘭本線を横断し徒歩避難する方法について

#### 概要説明：富岸地区連合町内会

- ・ 市が J R との協議で許可を得て今後整備を進めるという説明を、昨日の新生地区連合町内会との地区懇談会の場で聞いた。
- ・ 富浜町内会や大和町内会は、津波時の徒歩避難で線路を横断する必要があることを強く懸念している。
- ・ いつから実際に避難可能か、避難場所の早期指定や使用ルールなどをできるだけ早く、わかる範囲で説明してほしい。

**回答：総務部**

- ・ JR北海道等に線路横断の要望を10箇所提出しており個別に協議中であるが、まず障害が少なく整備しやすいモデルケースとして若草小学校付近と新生団地付近の2箇所でJR北海道との協議が整ったところである。
- ・ これを受け、令和7年6月の補正予算で予算措置を行い、令和7年度に測量と設計を行い、来年度に本格工事を行う計画で、現在測量は終了し設計段階に入っている。
- ・ 設計では夜間照明や門扉の鍵などJR北海道と細部を詰め、そこで得られた設計・運用方法を他箇所にも適用し、JRの承諾が得られた場所から順次工事を進める方針である。
- ・ 富岸地区でもトライアル付近と家具のアダチ付近の2箇所を候補地としてJR北海道と協議中で、後ほどスライド等で位置を示して説明する予定である。

**意見：富浜町内会**

- ・ 室蘭民報によれば、新生団地とカネカ冷蔵の間に線路横断の津波避難道を整備することが決まったらしいが、町内会としては小笠原市長らと現地を回り、鷺別側の日野自動車付近への設置を第1要望として伝えた。しかし、その要望箇所は来年度の設置対象に入っておらず、もし間に設置されれば西富岸踏切まで100～200mしかなく、住民が踏切に集中する懸念がある。新生団地からカネカ冷蔵の間は、JR利用者を優先したのではないかと推測する。
- ・ 道路の有無にかかわらず、現在避難が困難な日野自動車付近の住民を最優先で配慮してほしい。

**回答：市長**

- ・ 新生虹の家へ行くルートは選択肢に残しており、私自身も「なぜ新生虹の家ではないのか」と疑問に思っていた。
- ・ 市の情報開示が不十分で、新生町内会側が優先順位の変更を知らされていなかったとの指摘があるため、JRと再交渉して虹の家側の優先度を上げられないか、調整を図る。
- ・ 日野自動車側は選択肢から外しないと約束する。

**6. 市からの情報提供事項**

**(資料4) 新しい市役所本庁舎の整備について**

**説明：総務部**

- ・ 資料に基づき説明を行う。

**質問：富浜町内会**

- ・ 新庁舎は高台にあるのに、なぜカムチャツカの津波警報の影響で工事を中止せざるを得なかったのか疑問に感じている。

**回答：市長**

- ・ 海岸沿いにあったコンクリート会社が操業を停止したため、高台の工事現場へコンクリートを搬入できなくなり、鉄筋が接合できず型枠や既打設コンクリートを一度剥がす必要が生じた。
- ・ 結果的に型枠とコンクリートを一括でやり直す形になり、搬入不能が根本的な原因となった。

**6. 市からの情報提供事項（各地区連合町内会から市に情報提供してほしい施策等）  
（資料5）富岸地区における子育て支援施設の整備について**

**説明：保健福祉部**

- ・ 資料に基づき説明を行う。
- ・ 質疑なし

**6. 市からの情報提供事項（各地区連合町内会から市に情報提供してほしい施策等）  
（資料1）津波発生時の対応について**

**説明：総務部**

- ・ 資料に基づき説明を行う。

**意見：市民（町内会不明）**

- ・ 7月30日の避難では、校長の判断で富岸小学校の屋上が開放され多くの住民が避難した一方で、指定避難地の亀田公園は駐車場が満杯であったり、道路が渋滞したり、徒歩避難者が暑さの中で大変な思いをした。
- ・ 富岸小学校の屋上はイオンの屋上駐車場と高さがほぼ同じで、トイレや日陰があるなど建物の利点があるため、津波時の避難ビルに指定できないか再検討してほしい。
- ・ 旧いなか村は以前から避難を受け入れており、施設も残っているので、市と柳町建設で避難受入の協定を結べないか検討してほしい。

**回答：総務部**

- ・ 富岸小学校が津波避難ビルに指定されていない理由については現在調査中で、12月の報告時に明確にする予定である。
- ・ 津波避難ビルの基準が2種類に厳格化されており、富岸小学校が新基準に合致するかどうか併せて確認する。
- ・ 柳町建設との協定が再締結されていない可能性があるため、早急に依頼する。

**意見：大和町内会**

- ・ 7月30日のカムチャッカ地震で津波警報が出て車でイオン屋上に避難し、多くの人が集まり猛暑で疲弊していたが、イオンが水や椅子を提供してくれて助かった。しかし屋

上で半日から一日過ごすのは限界だった。

- ・ 今回の経験から、重大な津波が来た場合に最終的にどこへ避難すればよいか情報が届かず市民が途方に暮れる懸念がある。
- ・ 市に対して、一次避難後のフォローを明確に示すことや、次の避難場所を指示し、飲料・簡易トイレ・休めるスペースや寝られる場所、足や体の不自由な人への配慮を用意して案内してほしい。

#### 回答：総務部

- ・ 一時的な避難場所から正式な避難所へ移るためのルールを現在検討している。
- ・ そのルールをどうやって住民に伝えるかについても重点的に整備したいと考えている。
- ・ 一時避難までは住民各自で対応せざるを得ないが、その先については明確な運用を作っていく予定である。

#### その他

##### 質問：富浜町内会

- ・ ごみステーションについて、町内会に加入していない者がでたらめに捨てていくことがある。
- ・ ごみ問題について、町内会に加入していない者や移動が大変な高齢者は回覧板が回ってこないで、回覧板での周知では行き届かないと思うため、選挙時の投票権のように皆に届くように知らせることを検討できないか。

##### 回答：市長

- ・ プラスチックの分別の件について、分別すれば有料のゴミ袋を使用する頻度が減り、お得感があると思うので、そういった点で分別が進めばと思う。
- ・ 全戸配布はできるが、全戸配布でも見ない人は見ないため、アイデアを皆さんと考えたい。

##### 質問：市民（町内会不明）

- ・ プラスチックの分別の件について、プラスチックも無料になるのか。

##### 回答：市長

- ・ 考え方による。燃えるごみが減れば、処理費が浮き、プラスチックを無料することができるようになるかもしれない。

##### 質問：市民（町内会不明）

- ・ プラスチックごみはペットボトルとは別だと思うが、プラスチックでできている卵のケースや油のケースは現在燃えるごみである。今後は油のケースも洗わないでプラスチ

ックごみで出せるようになるのか。

**回答：市長**

- ・ リサイクルのため、できればきれいに洗ってほしい。

**意見：富岸地区連合町内会**

- ・ 他の自治体からみると登別は分別が少ないのに、違反ごみが多い。
- ・ 無料でプラスチックごみを回収してもらえらないうが、初めは無料でもそのうち有料になるのではないかと思っている。年金生活者にとってごみ袋の購入は負担があるので、できれば無料にしてほしい。

**回答：市長**

- ・ プラスチックごみを無料にし、有料ごみ袋の値段を上げるという考えもあるかもしれない。皆さんの知恵を借りたいと思っている。
- ・ 燃えるごみを減らし、次に処理場を建設する際には、最も小さい規模で作れたらと考えている。

**質問：桜木団地町内会**

- ・ 富岸町から新生町にかけて大規模なソーラーパネル設置計画があると聞いているが、規模は天華園のもの約2倍とされ、町への影響を強く懸念している。
- ・ 市が業者から計画情報を得た時点で、説明会や広報を通じて住民に広く知らせてほしい。

**回答：市民生活部**

- ・ 市内太陽光発電の導入が進む一方、自然環境や景観の悪化、大雨による土砂災害などの懸念が広がり、当初は令和5年の「再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドライン」で事業者との事前協議や住民説明会を求めていたが、地元の「より厳しい規制を」の声を受け、今年3月に「登別市再生可能エネルギー発電事業と地域との調和に関する条例」を制定し、6月から施行した。
- ・ 市は許可権限は持たないものの、業者との情報交換を義務付け、国立公園等の禁止区域、観光地周辺の抑制区域、雨量や火山灰による流出など地域特性に配慮を求める配慮区域（景観対策や土砂流出防止等の配慮事項）を設けて地域要望の反映を図っている。
- ・ 現在、来訪する事業者はおおむね市の要望を理解して計画を進めており、登別の奥部への問い合わせもあるが、具体案は聞いていない。条例により地域説明会の開催が必須とされており、具体的な計画が出た段階で町内会や工藤会長を通じた説明会を開き、意見交換を行う予定である。

**回答：市長**

- 市は電気代削減と脱炭素のため、クリンクルセンターや新庁舎、市民プール隣などでソーラー導入を進めており、民間業者に対する懸念と同様の配慮が必要だという点を認識している。
- 市自身も景観や植栽の計画をしりり立てて模範を示し、厳しさをもって自ら対応した上で民間にも求めていく方針である。